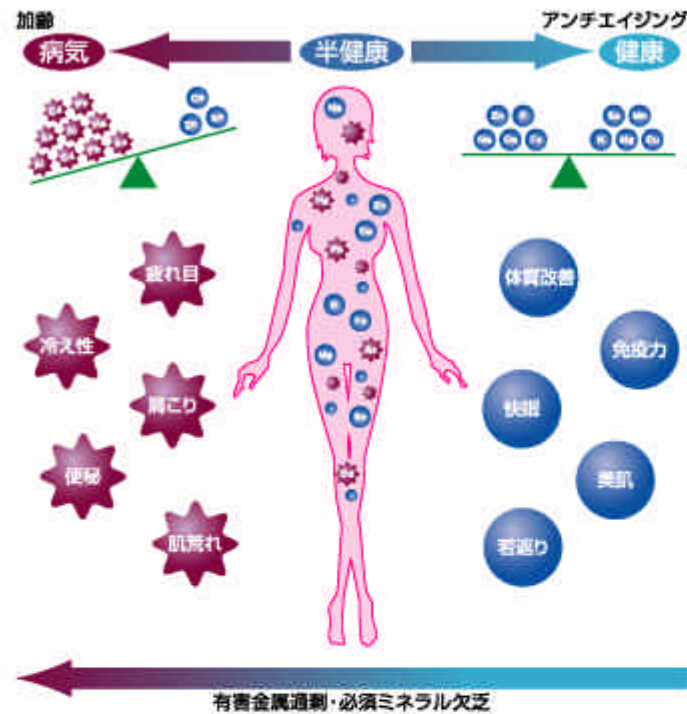


# アンチエイジングのための——毛髪ミネラル検査

加齢とともに  
さまざまな自覚症状があらわれます。



## 有害金属過剰が関与する主な健康障害例

- Cd** カドミウム / 肝臓・腎臓障害、高血圧、骨粗鬆症
- Hg** 水銀 / 肝臓・腎臓障害、中枢神経障害
- Pb** 鉛 / 貧血、腎臓障害、中枢神経障害
- As** ヒ素 / 皮膚障害、胃腸障害、変異原性(発ガン性)

## 必須ミネラル欠乏が関与する主な健康障害例

- Mg** マグネシウム / 心臓疾患、糖代謝異常、神経症
- Ca** カルシウム / 骨粗鬆症、筋肉の痙攣、不眠症
- Zn** 亜鉛 / 皮膚炎、味覚障害、発育不全、前立腺肥大
- Se** セレンウム / 心臓病、免疫力低下、生殖能力低下

## ミネラルの体内蓄積度を知る事ができる 毛髪ミネラル検査

### 有害金属が過剰蓄積の場合

- キレーション・デトックス・発汗療法
- 栄養療法(栄養剤、サプリメント)
- 食事・環境改善



### 必須ミネラルが欠乏の場合

- 栄養療法(栄養剤、サプリメント)
- 食事改善

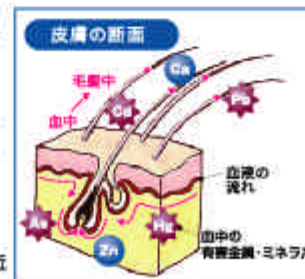


**Q** なぜ毛髪ミネラル検査が有効なのか?

**A** 毛髪は日々の体内の栄養状態を記録しています。

血液や尿は変動が激しいため長期的な栄養状態を把握するのに適していません。

※ 根元に近い部分を検査することによって最近2~3ヶ月の状況がわかります。



## 毛髪ミネラル検査の 分析手順及び検査結果表の提供

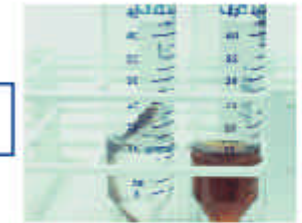
毛髪0.2グラムから秤量

洗浄  
(有機溶剤・界面活性剤)

アルカリ溶液による溶解

ICP-MS (Agilent社製2台)  
による測定

検査表と測定結果に基づく  
栄養・献立アドバイスの提供



毛髪溶解液



ICP-MS

## ら・べるびい予防医学研究所



最新検査機器を備えた予防医学研究所

● 日本人の毛髪中ミネラル濃度基準値(26元素)を日本で初めて確立

● 日本最大規模の毛髪ミネラル検査機関